

函南町軽井沢メガソーラー関連のマスコミ報道 2021

2021/4/26

函南町 メガソーラー防災面で懸念（静岡新聞 2021年1月20日版） 周辺首長に協力依頼	2
函南町に建設計画 メガソーラー（NHK 2021年1月20日放送） 反対住民 “環境影響評価の方法不十分”	3
アセスへ意見書 住民に説明内容（朝日新聞 2021年1月20日版） メガソーラーで函南町長	4
環境保全を重視（伊豆日日新聞 2021年1月21日版） メガソーラー計画で仁科町長 反対住民に姿勢示す	4
函南メガソーラー計画 地元商工会が「反対」（テレビ静岡 2021年2月1日放送） 町の意見への反映求める 静岡・函南町	5
メガソーラー「景観激変、事業中止を」（伊豆日日新聞 2021年2月2日版） 函南町商工会八木戸会長ら町長に意見書、要望	6
メガソーラー中止求め（静岡新聞 2021年2月2日版） 函南町商工会、町長に意見書	7
メガソーラー「直下に活断層」（朝日新聞 2021年2月2日版） 会結成の住民が勉強会	8
事業地直下に活断層（静岡新聞 2021年2月3日版） 専門家 土砂災害の危険性指摘	9
函南メガソーラー「知事との面会望む」（伊豆日日新聞 2021年2月11日版） 反対住民、県担当者と会談	10
災害への危機感強く（静岡新聞 2021年2月17日版） 函南町メガソーラーへ住民意見	11
メガソーラー「住民の思い、重視を」（伊豆日日新聞 2021年2月17日版） 函南議会 一心会、古村氏、町に要望	12
メガソーラー「地域共生に厳正対応を」（伊豆日日新聞 2021年3月2日版） 衆議院予算委分会で勝俣氏質問	13
メガソーラー地域共生への取り組みは（伊豆日日新聞 2021年3月12日版） 衆院委員会で勝俣氏質問 小泉環境相に対応聞く	14
住民説明「不十分」（静岡新聞 2021年3月17日版） メガソーラー巡り町議会 函南	15
函南メガソーラー「視察し住民の声聞いて」（伊豆日日新聞 2021年4月3日版） 町議会 知事に反対の意見要望	16
函南町議会「建設反対」要望（静岡新聞 2021年4月6日版） メガソーラー知事意見書に反映を	17

函南町 メガソーラー防災面で懸念（静岡新聞 2021年1月20日版）

周辺首長に協力依頼

函南町長

メガソーラー防災面で懸念

周辺首長に協力依頼

函南町の仁科喜世志

町長は19日、同町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設について「治山

治水の問題をクリアできるとは思えない」と訪ねて防災面での懸念を示すコメントを寄せた。環境影響評価（アセスメント）を示した。環境影

地域密着の姿勢は忘
甲には、合併によつ
ことはない。組員
な行き届かなくなると
平安もあるだろう。地

国保賦課限度額
引き上げよ妥当
新規
2021.1.20

の方法書に対する町長の意見書に反映させる方針。

同日、計画に反対する住民団体との面談で明らかにした。メガソーラーの建設に伴う森林の保水力低下、事業用地が活断層の真上に位置する問題点を踏まえ、豪雨や台風などの影響が他市町にも及び

かねない事態を想定。周辺の市町長からコメントが得られれば環境アセス方法書の縦覧期間に盛り込み、防災面での危機意識を地域全体で発信する。

面談では沼津市民も出席し、駿河湾も含めた広範囲に影響が拡大する可能性を指摘した。仁科町長は「意見書では流域の人々の考えも触れさせてもらう」と述べた。

函南町に建設計画 メガソーラー (NHK 2021年1月20日放送)

反対住民 “環境影響評価の方法不十分”



函南町に建設が計画されている大規模太陽光発電所をめぐり、土砂災害のおそれなどから反対する住民らが、事業者がこれまでに示している環境影響評価の方法は不十分だなどとして、改善を促すよう町に求めました。

函南町の軽井沢地区に計画されているおよそ65ヘクタールのメガソーラーの建設をめぐっては、一部の住民が、土砂災害のリスクの高まりや自然環境への影響を懸念して反対している一方、東京の事業者は、これまでに建設計画を進める上で必要な環境影響評価の方法を町などに示しています。



これについて、住民らが19日に町役場を訪れ、水質や地質などの対象範囲には根拠がなく、不十分だなどとして、事業者に対し、改善を文書で促すよう町に求めました。

この中で住民の1人は、建設予定地は、おととしの台風で実際に土砂崩れが起きたとして、「今後も大雨になれば災害が発生するおそれがあり不安だ」と訴えました。

また土砂災害が起きれば、沼津市などを流れる狩野川があふれ、水害を招くおそれがあるという声も聞かれました。



要望に対し、函南町の仁科喜世志町長は、住民の懸念は理解できるとして対応を検討する考え方を伝えていました。

アセスへ意見書 住民に説明内容（朝日新聞 2021年1月20日版）

メガソーラーで函南町長

アセスへ意見書 住民に内容説明 メガソーラーで函南町長

函南町軽井沢地区で計画されているメガソーラー建設問題で、同町の仁科喜世志町長は19日、反対派住民らと面会した。席上、「治山治水問題をクリアできな

い」と述べ、事業阻止を目指す考えを示した。

現在、事業者に義務化されている環境アセスメントに向けた準備が進んでいた。仁科町長は、手続きの

中で示すことになる意見書の内容について説明。「(2019年の)台風19号では大きな水害が発生した。計画では39㌶もの森林を伐採する。狩野川下流域の首長に直接会い。その思いも意見書に盛り込みたい」と述べた。

これに対し、「函南町軽井沢メガソーラーを考える会」の山口雅之代表は意見書の方向性は評価したが「アセスでは事業を止められない。阻止のためには町条例の適用が必要だ」と訴えた。

（岡田和彦）

環境保全を重視（伊豆日日新聞 2021年1月21日版）

メガソーラー計画で仁科町長 反対住民に姿勢示す

環境保全を重視

メガソーラー計画で仁科町長

函南



仁科町長の話に耳を傾けるメガソーラー計画に反対する住民ら
函南町役場

内容に関する意見を知事宛てに提出することになっている。仁科町長は「方法書の内容を確認しているが不十分な部分が多い。函南町は大きな土砂災害や水害を受けてきた地域。この計画では治山、治水の問題をクリアできるとは思えない」と述べ、「台風19号では狩野川など広域に被害が及んだ。周辺市町の首長に環境アセスについての意見を直接伺い、協力もお願ひしたいと考えている」と語った。

面会には函南町軽井沢メガソーラーを考える会はじめ、沼津市からも市民が参加した。同会の山口雅之代表は「仁科町長が環境アセスに対して反対住民と同じ思いを共有してもらっていることを知りうれしい。今後も住民の命を守ることを第一に、リーダーシップを發揮してほしい」と語った。

函南メガソーラー計画 地元商工会が「反対」（テレビ静岡 2021年2月1日放送）

町の意見への反映求める 静岡・函南町



函南町で計画されているメガソーラーについて商工会が町長に要望です。

東京の事業者がメガソーラーおよそ10万枚の太陽光パネルを町内に設置する計画で、今日は商工会のメンバーが「災害などへの懸念から中止すべき」として意見の反映を仁科町長に要望しました。



メガソーラー「景観激変、事業中止を」（伊豆日日新聞 2021年2月2日放送）

函南町商工会八木戸会長ら町長に意見書、要望

うらやまし

ドが大の苦
る分ウツボ

子元島沿岸



●伊勢エビを押さえ込むタコ

しむ。

また、稲木監督の関持ちを込めて述べた。

「景観激変、事業中止を」

函南町商工会
八木戸会長ら

町長に意見書、要望

函南町の軽井沢地区
で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）

建設計画を巡り、函南町商工会の八木戸一重会長らが1日、町役場

を訪れ、同事業に対する同商工会の意見書と

町の対応についての要

望書を仁科嘉世志町長

に提出した。

八木戸会長は「観光

事業者の存廃の命運を

左右しかねない計画」

事業者との意見として、

事業計画は中止されるべきものと考えると

べきものと考えると

べきものと考えると

べきものと考えると

べきものと考えると

べきものと考えると

べきものと考えると

べきものと考えると

べきものと考えると

を激変させることにな
る」などと中止を求め

た。同商工会は開発業者

のブルーキャピタルマ

ネジメント（東京都港

地区に65・3haの広大

な林地等を伐採し、ソ

ーラーパネルを設置す

ることは治山・治水

流域住民、事業者の安

心・安全の観点から重

大な懸念と危惧を有し

ている」「山肌に張り

付いて設置されるソ

ーラーパネルが素晴らしい自然・緑・景観環境

に關わる環境影響評価

方法書に対し、1月28

日の理事会で審議し、

すでに同事業所に意見

書を提出している。こ

の意見書を町への要

望書に添えた。



要望書を読み上げる八木戸会長(右)＝函南町役場



あいさつする豊岡市長(手前)と参画企業代表
＝三島市役所

要望書を読み上げる八木戸会長(右)＝函南町役場

「企業と情報共有」

移住定住

二島市と市の3社で研究会発足

による「みしま移住定

住研究会」の認定式が

1日 市役所で開かれ

た。豊岡武士市長と各

社代表が出席し、今後

の取り組みや役割につ

いて確認した。

豊岡市長は「10年間

企業誘致を進めるな

ど、深い議論をした

メガソーラー中止求め（静岡新聞 2021年2月2日版）

函南町商工会、町長に意見書

メガソーラー中止求め

函南町商工会、町長に意見書



仁科町長（左）に意見書を手渡す八木戸会長＝函南町役場

函南町商工会は1日、同町軒井沢で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設計画について「安心・安全、経済活動を著しく損ねる恐れがある」とし、事業の中止を求

志町長に提出した。仁科町長は環境影響評価（アセスメント）方針書に対する町の意見書に反映させる方針。同商工会は事業者が設置する3カ所の調整池が事業用地の1・5%にすぎない点を指摘し、「大量の雨水が調整池の容量を超えるとした。景観面では周辺の8カ所からソーラーパネルの可視領域に

めの意見書を仁科町長に提出した。仁科町長は環境影響評価（アセスメント）方針書に対する町の意見書に反映させる方針。同商工会は事業者が設置する3カ所の調整池が事業用地の1・5%にすぎない点を指摘し、「大量の雨水が調整池の容量を超えるとした。景観面では周辺の8カ所からソーラーパネルの可視領域に

に入ることで「自然環境に入り交じる」として「人工物が入り交じる」ことによる「景観価値を著しく損ねる」とし、観光業への悪影響を訴えた。八木戸一重会長から意見書を受け取った仁科町長は「商工業者の意見を最大限尊重したい」と語り、提出する意見書に盛り込むことを示した。八木戸会長は「事業の阻止に組んでいきたい」と述べた。

メガソーラー「直下に活断層」（朝日新聞 2021年2月2日版）

会結成の住民が勉強会

函南町輕井沢地区で計画されているメガソーラー予定地近くの住民が「丹那の自然と生命を守る会」を結成し、1月30日に現地で30人が参加して勉強会を開いた。講師を務めた地質専門家でコンサルタントの塩坂邦雄氏が計画地の直下に活断層があり危険だと指摘した。

塩坂さんによると、洪水防止のための調整池付近の地下を国土地理院が公表している活断層が走っている。このため「断層が動いて地震が起きれば（調整池の）堤体は崩壊し下流を土石流が襲う。こんな危険な計画は止めなければならぬ」と主張した。

メガソーラー

「直下に活断層」

会結成の住民が勉強会

守る会は計画地の近くにある丹那小学校・幼稚園に子どもを通わせる親たちを中心になって昨年末結成した。会長の会社員溝口靖基さん(54)は「まずはメガソーラー阻止のために全力を尽くす。阻止した後は活気と魅力にあふれたまちづくりを進める活動に発展させていきたい」と話した。

計画では開発業者のブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）が丹那盆地北側斜面の山林約65haに太陽光パネル約10万枚を設置、中部電力子会社のトーエネック（名古屋市）が東京電力に売電する。環境アセスに対する意見書で活断層の危険性を指摘することにした。（岡田和彦）

事業地直下に活断層（静岡新聞 2021年2月3日版）

専門家 土砂災害の危険性指摘

(27) 社会

令和3年(2021年)2月3日(水曜日)

张争



函南・メガソーラー計画

函南町輕井沢の大規模太陽光発電所（スマートソーラー）建設計画で、事業用地の真下に活断層が通っていることが分かった。地震で活断層がずれ、土石流が発生すれば泥をつって丹那盆地に警報をもたらす危険性があるといふ。現地を訪れた地質学者の塙坂邦雄氏（55）は、「メガソーラー」自体は否定しないが、この場所だけは危ない」と訴える。

国土土地院が示す活断層図では、約65秒間に広がる事業用地の直下には三つの活断層が南北に走っている。同事業の環境影響評価書（アセサメント）方法書にも活断層の存在

専門家 土砂災害の危険性 指摘

事業地直下に活断層

Qの山林一帯に電線を敷設する。2年後には、10万枚のソーラーパネルを設置する。2025年8月に着工し、23年12月に運転を始める予定。ブルーキャピタル・マネジメント(東京)が開発事業を行い、固定価格買い取り制度に基づき中部電力子会社のエヌック(名古屋市)が東京電力に全量電力を供給する。

100

長野で住宅火災が相次ぎ4人死る。県によると、環境アセスメントの調査項目には「土地の安定性」が含まれるもの、どこまでも調べるべきは事業者次第。現時点のアセスメントで活断層の位置に関する調査を行う予定はないが、フルーリ社は「調査を求める意願が出れば誠実に検討したい」という。事業に「不同意」の

長野市で1白夜から2日間にかけて松本市で住宅火災が相次ぎ4件発生し、県によると、計4人の死体が発見された。住民の組合高齢夫婦の2名が火災で死亡した。県警が火原因と連絡が取れていない。県警が火出原因を調べている。

鶴岡大谷容疑者22と共に謀殺したとみている。逮捕容疑は、松江市の大學生が鶴岡容疑者の指名で給付金を不正申請させ、中小企業庁から100万円を大学生の口座に振り込まれさせて詐取した疑い。鶴岡容疑者が大學生から數十万元を受け取り、田中容疑者がうち数万円を「紹介料」として得た疑いがあるという。

函南メガソーラー「知事との面会望む」（伊豆日日新聞 2021年2月11日版）

反対住民、県担当者と会談

(1)

第13473号 (昭和58年3月22日第3種郵便物認可)

伊

函南メガ
ソーラー

「知事との面会望む」



県の林地開発許可について話をする藤田局長(左)
=函南町の軽井沢公民館

函南町軽井沢で計画が進む大規模太陽光発電所(メガソーラー)による会談が10日、軽井

ついて、事業に反対す

る住民と県の担当者に

同事業は県の林地開発

許可を受けている。

会談には函南町軽井

沢メガソーラーを考え

る会(山口雅之代表)を

はじめ、周辺市町の関

係住民ら24人が参加。

県からは担当者6人が

出席し、事業計画の現

状などを説明した。

山口代表は「県と住

民と協力してこの問題

の解決に取り組んでい

きたい。県のトップで

ある知事と会う機会を

設けてもらい、地元の

声を直接伝えたい」と

訴えた。

国土地理院活断層図
では、約65秒に広がる

国土地理院活断層図
の中でも付帯条件を付け
ている。皆さんの懸念

事業用地の直下には三つの活断層が南北に走っている。同事業の環境影響評価(アセスメント)方法書にも活断

層の存在が記載され、その上に雨水をためる

約2万4千トの調整池などが建設される計

画。反対住民らは調整池直下の活断層とスコ

リア層による土砂災害

による災害リスクを指

摘している。

事業用地上の活断層は、

事業用地上の活断層は、

事業用地上の活断層は、

に対する行政指導を続けていく」と説明した。

三島南高
野球部創部100周年
記念式典が開催された。式典には、第93回選抜高校野球大会出場を祝う懸垂幕が登場した。応援の看板や旗も設置され、学校挙げてムードを盛り上げている。



メガソーラー「住民の思い、重視を」（伊豆日日新聞 2021年2月17日版）

函南議会 一心会、古村氏、町に要望



仁科町長(左)に要望書を手渡す
土屋会派長＝函南町役場

メガソーラー

「町民の思い、重視を」 函南議会 一心会、古村氏、町に要望

函南町の軽井沢地区
で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画を巡り、函南町議会の会派・一心会（土屋学会派長）と無会派の古村高氏は16日、町役場に仁科嘉世志町長を訪ね、意見・要望書を提出した。要

望書は「町長として町民の思いを重視し、町が力を合わせ、この問題に取り組んでいけるようリーダーシップを發揮し、解決に向け尽力してほしい」と求めた。

同会派と古村氏は、開発業者のブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）が県条例に基づき実施した同事業所に関わる環境影響評価方法書に対し、町

内の事業所や町民に意見書提出を求めた。その結果、230を超える意見書が集まつたという。意見書は事業者に送るとともに、内容を整理、集約し、町長宛ての要望書に添付した。

土屋会派長は「市民による重要な意見を理解していただき、町長が県に提出する報告書の中で、しっかりと反映してほしい」と述べた。

メガソーラー「地域共生に厳正対応を」（伊豆日日新聞 2021年3月2日版）

衆議院予算委分会で勝俣氏質問

伊豆日日新聞



メガソーラー

「地域共生に厳正対応を」

衆院予算委分会で勝俣氏質問

梶山
経産相
「違反は認定取り消す」

自民党の勝俣孝明衆院議員（比例東海）はこのほど、衆院予算委員会第7分会で大規模なメガソーラー計画を念頭に置き、地域との共生が取れていない事業者に対してFIT（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）に答える梶山経産相に求めた。伊豆半島経産相は「地域の太陽光発電施設（メガソーラー）事業についてほしい」と梶山弘志をしてほしいと梶山弘志にて質問した。伊豆半島経産相は「地域の自治体が定めた条例を含む関係法令順守をして定めている。違反した場合は認定を取り消すこと」と、「にぎわい」と答えた。

衆院予算委第7分会で勝俣氏右の質問に答える梶山経産相

国会内（提供写真）

JR伊東

高校生おもてなし特派員

「にぎわい

伊東市の「高校生観光おもてなし特派員」

メガソーラー地域共生への取り組みは（伊豆日日新聞 2021年3月12日版）

衆院委員会で勝俣氏質問 小泉環境相に対応聞く



衆院環境委員会でソーラー発電事業の地域規制について質問する勝俣氏＝国会内(提供写真)

ガソーラー

地域共生へ取り組みは 衆院委員会で 勝俣氏質問 小泉環境相に対策聞く

自民党的勝俣孝明衆院議員（比例東海）は9日に国会内で開かれた衆院環境委員会で、小泉進次郎環境相に対し太陽光発電事業の地域や、自然環境との調和についてただした。

「トラブルになつてゐるケースが全国的にも伊豆半島でも散見される。近年は、毎年100件を超える地滑りなどの災害事故が確認されている」と指摘した上で、「環境省としてどのように地域との共

生、自然との調和に取り組んでいくのか」と尋ねた。小泉環境相は「今国規制と合わせて対策をしていく」と答えた。

会で温暖化対策推進会議
改正に絡み、再エネルギー促進区域を設け、さまざまな合意形成に
向けた地域の人たちの議論

住民説明「不十分」（静岡新聞 2021年3月17日版）

メガソーラー巡り町議会 函南

あなたの静岡新聞

静岡

知っとこ

追っかけ

新着



住民説明「不十分」 メガソーラー巡り町議会 函南

2021.03.17

函南町議会3月定例会は16日、一般質問を行い、町は同町軽井沢で建設計画が進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）に関し、事業者の住民に対する説明が不十分として「国、県と連携して今まで以上の指導をしていく」と述べた。古村高氏（無会派）への答弁。

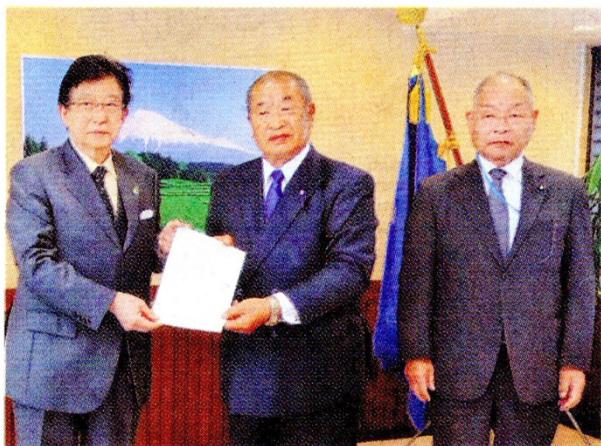
県の林地開発許可では説明会などで住民の理解を得る努力を認可の条件としているが、町は「説明会は不十分。住民の理解を得るよう努めているとは判断していない」と指摘した。事業者が実施した県条例に基づく環境影響評価（アセスメント）方法書の縦覧では、町民から多くの反対意見が寄せられたとみられる。仁科喜世志町長は今後、町民や専門家の考えも踏まえて自らの意見書を作成し、県に提出する予定。

同日はこのほか、植松淳史（自由かんなみ）、土屋学（一心会）、田中正美（共産）、大庭桃子（同）の4氏も登壇した。

函南メガソーラー「視察し住民の声聞いて」（伊豆日日新聞 2021年4月3日版）

町議会 知事に反対の意見要望

函南町の軽井沢地区で進む大規模太陽光発電（メガソーラー）建設計画を巡り、同町議会（中野博議長）はこのほど、川勝平太知事に「（仮称）函南太陽



川勝知事（左）に意見書を手渡す中野議長
＝県庁（提供写真）

函南メガソーラー

「視察し住民の声聞いて」

町議会 知事に反対の意向要望

を訪ね、川勝知事に手渡した。

同意見書は事業者が、県条例に基づき実施した同事業に関する環境影響評価書に関する内容。同議会の「メガ

ソーラー建設計画問題対策特別委員会」が3月定例会に提出し、全会一致で可決された。

意見書は川勝知事に対し、「議員や多くの町民も同事業に対して反対の意向を示した意見書を提出している。現状を鑑み、意見概要に付する知事意見にこの意向をくみ取つてほしい」と強く求めている。

中野議長は川勝知事

に対する知事意見について、「函南町民の建設反対の意向の反映を求める意見書」を提出した。中野議長らが県庁に直接聞いていた

だく機会を設けてほしい」と要望。川勝知事は「全国知事会で同様の課題を抱える自治体と協調し、法律における権限行使ができるよう国に働き掛けていきたい」と答えた。

函南町議会「建設反対」要望（静岡新聞 2021年4月6日版）

メガソーラー知事意見書に反映を

函 南 町議会「建設反対」要望 メガソーラー 知事意見書に反映を

函南町議会の中野博議長はこのほど県庁を訪れ、同町軽井沢で建設計画が進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）について、環境影響評価（アセスメント）は「住民が反対している」との意見書に対する反対の意向を反映するよう川勝平太知事に要望した。川勝知事は「住民が反対している」との意見書に対する反対の意向を反映するため、内閣府に、仁科嘉世志町長からの考え方を受けた意見書を作成する。中野議長との面会では同様の問題が各地で起きている現状に触れ、「全国定地を視察し、町民の声を直接聞く機会を設けてほしい」と川勝知事が述べた。

書を作成する。中野議長との面会では同様の問題が各地で起きている現状に触れ、「全国定地を視察し、町民の声を直接聞く機会を設けてほしい」と川勝知事が述べた。

最新情報は下記のウェブサイトをご覧ください。

→ <https://dialand.jp>